

「次期プロジェクトマネジメントシステムに係る設計・開発及び運用・保守業務」仕様書（案）に関する意見書への回答

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
1	仕様書	20	3.1. (3)	<p>以下の通り文言の修正をご提案いたします。</p> <p>--</p> <p>修正前：本番サーバは、サービスレベルとして99.9%以上の可用性を確保すること。</p> <p>※オンライン処理に必要な各サービスを直列に並べて稼働率を計算した値とします。</p> <p>↓</p> <p>修正後：本番サーバは、以下の要件を満たすサービスレベルを確保すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·aaS型サービスについては、サービスレベルとして 99.9%以上の可用性を確保すること</li> <li>·SaaS型サービスについては、サービスレベルとして 99.8%以上の可用性を確保すること</li> <li>·aaS/SaaS の別を問わず、前年の実績稼働率として 99.9%以上であることを客観的に確認できること</li> </ul> <p>※稼働率の算定にあたっては、オンライン処理に必要な各サービスを直列に並べて算出した値、またはこれと同等の考え方に基づく実運用上の稼働率を用いるものとする。</p>	システムの可用性について、現行システムで達成している水準を踏まえ、運用上の目標値として月間稼働率99.9%を設定し、稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いることします。目標値に達成しない場合は改善案の提示・実施を求める旨、仕様書に記載いたします。	有	「システムの稼働率として99.9%以上を目指す。※稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いるものとし、目標に達成しない場合は改善案の検討・提示・実施をおこない、3ヶ月以内の達成を目指す」とに修正する。
2	仕様書	20	3.1. (4)	<p>以下の通り文言の修正をご提案いたします。</p> <p>--</p> <p>修正前：RPO(目標復旧時点)：前日利用終了時（または当日オンライン開始時点）</p> <p>↓</p> <p>修正後：RPO(目標復旧時点)：1時間</p>	RPOの定義について、他システムとの連携や全体業務の断面も考慮する必要があるため、本要件から変更する予定はございません。	無	
3	仕様書	21	3.2. (2)	<p>以下の通り文言の追加をご提案いたします。</p> <p>--</p> <p>追加文言：SaaSサービスについてはこの限りではなく、設計内容に応じて個別に協議の上決定することとする。</p>	SaaSサービスにおいてはネットワーク遅延やブラウザの処理など、ベンダー側で制御できない要因が性能に影響するため、画面処理時間を秒単位で保証するのが難しいというご指摘は理解しております。 性能要件についてはオンプレやaaS型の基準一律で定義するのではなく、SaaS特有の事情を踏まえた要件へ見直します。	有	「ネットワークや利用環境による影響を考慮し、システムがリクエストを受け付けてからレスポンスを返すまでの平均応答時間3秒以内とし、著しい遅延が発生した場合は受注者と協議の上、改善を求める。」に修正する。
4	仕様書	23	3.4 (3)	<p>移行対象データについて以下の情報をご教示ください。</p> <p>--</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·データ量：レコード件数や総容量など</li> <li>·添付ファイルの有無と形式（PDF、画像、Officeファイル等）</li> </ul>	本公示に関する閲覧資料にて、現行の情報を提示いたします	無	
5	仕様書	24	3.5 (5)	<p>以下の通り文言の追加をご提案いたします。</p> <p>--</p> <p>追加文言：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·事業者等向け外部サイトでは多要素認証を実装すること</li> <li>多要素認証の検証方法は以下に全て対応すること。</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>·認証API</li> <li>·FIDO2</li> <li>·パスワード</li> <li>·メールワンタイムパスワード</li> <li>·SMSワンタイムパスワード</li> </ul> </ul>	機能要件にて多要素認証に関する要件を示しています。	無	
6	仕様書	21	3.2. (1)	<p>内部ユーザー：約1,500名のうち、以下の機能定義に基づき、各機能を担当する人数の内訳をご教示ください。</p> <p>※同一人物が複数機能を担当する場合は、重複を考慮した内訳でお願いします。</p> <p>--</p> <p>機能定義</p> <p>A：問合せ管理（機能概要ID: JPN11B.SR.01~02）      B：マニュアルの管理（機能処理ID: JPN11AS.R01.01~04）      C : FAQの管理（機能処理ID: JPN11C.SR.01.01~07）</p> <p>ご表示いただきたい人数内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·Aのみ担当する人数</li> <li>·Bのみ担当する人数</li> <li>·Cのみ担当する人数</li> <li>·A+Bを担当する人数</li> <li>·A+Cを担当する人数</li> <li>·B+Cを担当する人数</li> <li>·A+B+Cを担当する人数</li> </ul>	各機能の担当者については、後続フェーズで具体的な業務内容や役割分担を詳細に定義する予定であるため、現時点での内訳のご提示は困難です。 ご参考までに、内部ユーザーのうち管理業務を行うユーザーの想定人数は3名から9名程度となります。 なお、上記人數には、応札者が構築する体制（例：ヘルプdesk等）の人員は含んでおらず、弊機構で運用・管理を担当担当者のみとなります。	無	
7	仕様書	P2	1.3.2	<p>以下の文言の追加を推奨します。</p> <p>作業画面と同一画面から手順書を閲覧できる機能を備える。</p>	ユーザビリティについては、直感的なユーザインターフェースの提供により、具体的な手順書を閲覧せざともユーザーが容易に目的を達成できることを期待します。そのため、作業画面から手順書閲覧できる機能を必須要件として記載することは想定しておりません。	無	
8	仕様書	P9	1.6	<p>以下内容に対する質問となります。</p> <p>業務開始が2026年度Q1の早い時期を想定されていますが、公示や手続が遅れた場合でもリリースは2027年12月末という認識でよろしいでしょうか。</p>	現時点ではシステムのリリースタイミングの変更是想定しておりません。	無	
9	仕様書	P10	2.1 (1)	<p>以下文言の追記を推奨します。</p> <p>【業務の効率化】      NEDO職員業務の効率化を支援するため、生成AIなどを用いた文章の要約や関連情報の検索、対策案の提示などの機能を備えること。</p>	本件は、調査における必須要件とはせず、加点ポイントとなる評価観点にすることを検討します。	無	
10	仕様書	P10	2.1 (1)	<p>以下文言の追記を推奨します。</p> <p>入力作業を省力化するため、入力時にテンプレートから選択できる機能は、目的（入力業務の省力化）を達成するための実現方式の一つと認識しております。仕様書には特定の方式を明記せず、入力作業の省力化という目的を達成するための最適な方式については、応札者の提案に期待しております。</p>	ご提案いただいた「入力時にテンプレートから選択できる機能」は、目的（入力業務の省力化）を達成するための実現方式の一つと認識しております。仕様書には特定の方式を明記せず、入力作業の省力化という目的を達成するための最適な方式については、応札者の提案に期待しております。	無	
11	仕様書	P10	2.1 (1)	<p>以下内容の明確化を推奨します。</p> <p>次期システムにおけるマルチデバイス利用について、外部インターネット回線を経由したアクセスを想定しているか。</p>	現時点では想定しておりません。	無	
12	仕様書	P10	2.1 (1)	<p>以下内容の明確化を推奨します。</p> <p>次期システムにおけるマルチデバイス利用について、Webブラウザからのアクセスは有効な手段の一つと認識しておりますが、特定の方式に固執するものではありません。</p> <p>具体的な技術的アプローチ、デバイスごとのUI/UXの最適化、およびセキュリティを確保する方策を含め、応札者の専門的な知見に基づく提案を期待しております。</p>	Webブラウザからのアクセスは有効な手段の一つと認識しておりますが、特定の方式に固執するものではありません。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
13	仕様書	P11	2.1 (5)	以下文言の追記を推奨します。 管理者が市民開発ができるよう、ロード・ノードでの開発機能を備えること。 管理者が項目の表示・非表示を設定できること。	ご提案いただいた開発機能について、「1.3 調達目的及び期待する効果」「2.2個別機能要件」内に記載しているため、ご提案いただいた箇所への追記は予定しておりません。	無	
14	仕様書	P20 P21	3.1 (1) 3.2 (3)	以下内容に対する質問となります。 バッチ処理は0:00~2:00の時間帯に実施し、失敗した場合は切り戻しの上での再実行はせず、翌営業日の業務開始時刻までにロールバック処理のみを実施する認識でよいか。	日次処理が完了しないと翌営業日の業務を開始できない場合があるため、万が一バッチ処理が失敗した場合には、業務開始時刻までにリトライを実施し、処理完了を目指す必要があります。	無	
15	仕様書	P20	3.1 (2)	以下内容に対する質問となります。 システム構築にあたり、原則二重化する要件である認識でよいか。また、二重化でない場合のみ5分以内で切替する必要がある認識でてあるか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
16	仕様書	P20	3.1 (3)	以下文言の変更を推奨します。 本番サーバに求める可用性は99.9%ではなく99.8%以上が望ましい。	システムの可用性について、現行システムで達成している水準を踏まえ、運用上の目標値として月間稼働率99.9%を設定し、稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いることとします。目標値に達成しない場合は改善案の提示・実施を求める旨、仕様書へ記載いたします。	有	「システムの稼働率として99.9%以上を目標とする。 ※稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いるものとし、目標に達成しない場合は改善案の検討・提示・実施をおこない、3ヶ月以内の達成を目指すこと」に修正する。
17	仕様書	P21	3.2 (2)	以下文言の追加を推奨します。 利用者（アカウント数）の増加に伴い性能が落ちることがないものとすること。	該当内容については要件定義書（案）に記載しておりますため、仕様書への追記は想定しておりません。	無	
18	仕様書	P22	3.3 (2)	以下内容に対する質問となります。 「軽微な改修」とはロジックに変更を及ぼさない及びデータベース定義に影響を及ぼさない範囲を対象とする認識でよいか。	基本的にはその範囲が想定されます。 具体的な対応範囲については、都度ご相談することを想定しております。	無	
19	仕様書	P24	3.5 (1)	以下内容の明確化を推奨します。 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準*等」に含まれる具体的な文書範囲。	記載を変更いたします。	有	「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準」（最新版）に従うこと。」に修正する。
20	仕様書	P25	3.5 (6)	以下文言の追加を推奨します。 インスタンス・データベースは他顧客と共有せず、専用環境を用意すること。	ご提案を踏まえ、「クラウド環境において、他テナントの影響を受けないための仕組みが確保されていることを要件として明記するようにいたします。	有	「(6) データの秘匿 ・保存データ・通信データの暗号化を実施すること。 ・データごとに「機密情報」「公開情報」などの分類がわかれること。 ・クラウド環境において、他テナントの影響を受けないための仕組みが確保されていることを」に修正する。
21	仕様書	P37	4.6 (3)	以下内容の明確化を推奨します。 データ移行ツールの方式検討や工数算定の前提として、対象データ量（テーブル数、項目数等）の規模感やデータ形式（非構造化データ自身を構造化する必要があるか）の想定。	対象となるテーブル数や項目数などの規模感につきましては、参考として現行情報を本公示の際に明示し、事業者間で前提条件を挿入たうえでご提案いただけるよう配慮いたします。	無	
22	仕様書	P44	4.14	以下文言の追加を推奨します。 製品およびクラウドサービスに対するアップグレードやバッチ適用などのメンテナンススケジュールを、ユーザー側に業務影響が出ないよう指定できること。	ご提案いただいた「メンテナンススケジュールの指定」に関するご意見については、非機能要件にてサービス提供時間や夜間のバッチ処理、システム停止を伴うメンテナンス等については、要件定義書（案）にて記載しております。そのため、仕様書への追記は予定しておりません。	無	
23	仕様書	11	2.1.(5)	「機能拡張性」について、設定・拡張するマスタ画面数および項目数、設定値の想定値をご教示ください。	現段階では、設定・拡張する対象マスターは未確定であり、具体的な想定値を提示することはできかねます。	無	
24	仕様書	12	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番1)に関して、NEDO職員がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式についてご教示ください。	NEDO職員は、別システムが保持する認証サーバを用いてシングルサインオンによりPMSにログインします。認証の種類・方式については本公示の際に提示する現行資料を参照ください。	無	
25	仕様書	12.14	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番7.2.5)において、「プロジェクトに紐づく文書の登録」とあります、1つのプロジェクトにアップロードするファイル数とファイルサイズの上限はどれくらいを想定しているかご教示ください。	1つのプロジェクトにアップロードするファイル数・ファイルサイズの上限については、プロジェクト期間やプロジェクトに紐づく事業・契約数により異なるため現段階で具体的な想定値を提示することはできかねます。	無	
26	仕様書	12~19	2.2.(1)	表3「機能一覧」において、現行のPMSのシステム全体での画面数と項目数、テーブル数と各テーブルのカラム数をご教示ください。	現行の画面やテーブル、項目数などの規模感につきましては、本公示の際に開示します。	無	
27	仕様書	13~17	2.2.(1)	表3「機能一覧」において、外部システム（追跡調査システム、会計システム、文書管理システム、資産管理システム、周辺システム）との連携とあります、PMSは対向システムの保有するREST APIを呼び出す想定でよろしいでしょうか、異なる場合はどのような連携を想定されているかご教示ください。	本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。	無	
28	仕様書	16	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番55)「帳票様式を登録・編集する」とありますPMS上で帳票様式の新規作成は想定していますでしょうか。 また、帳票様式の数や出力する件数の想定数をご教示ください。	項番55の帳票様式設定機能において、帳票様式の新規作成は想定しておりません。 帳票様式の数や出力件数の想定数につきましては、本公示の際に開示します。	無	
29	仕様書	17	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番58)に「NEDO職員・事業者へシステム内通知・メール・インフォメーション通知を送付する」とあります、メール通知するにあたってNEDO様が既にお持ちのメールサーバを利用させていただける想定でよろしいでしょうか。	NEDOが既存で保有するメールサーバの提供は予定しておりません。 メール通知機能の実現にあたっては、本調達範囲内で必要なメール送信機能を開発・実装いただくことを前提としてご検討ください。	無	
30	仕様書	18	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番64)に関して、事業者がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式についてご教示ください。	事業者がPMSへログインする際の認証方式については、現時点で「アプリ等のツールを使用しない形での多要素認証によるログイン」を想定しております。 なお、具体的な認証方式については、受注者による提案内容に委ねるものとします。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
31	仕様書	19	2.2.(1)	<p>表3「機能一覧」(項番74)に「従事日誌を基に、労務費積算表を自動作成する」に関してご教示ください。</p> <p>①従事日誌の単位（プロジェクト毎、担当者毎、事業者毎など）、自動生成を実施する頻度とタイミングを教えていただけますでしょうか。また、労務費積算表は生成された結果がPMSの画面上で確認できればよろしいでしょうか。</p> <p>②経費発生証書は生成された結果がPMSの画面上で確認できればよろしいでしょうか。また、自動生成を実施する頻度とタイミングを教えていただけますでしょうか。</p>	<p>①各契約に従事する事業者担当者ごとに月単位の従事日誌を作成します。 労務費積算表は、中間検査または確定検査時に、検査対象期間分の従事日誌を基に生成します。生成結果はPMSの画面上でWeb帳票で確認できるようにし、かつファイル帳票としてダウンロードできるようになります。</p> <p>②経費発生証書も労務費積算表と同様に、中間検査または確定検査時に生成します。 生成結果はPMSの画面上でWeb帳票で確認できるようにし、かつファイル帳票としてダウンロードできるようになります。</p>	無	
32	仕様書	19	2.2.(1)	表3「機能一覧」(項番84)に関して、利用者（外部一般ユーザ）がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式についてご教示ください。	項番84の外部一般ユーザによる成果報告管理機能へのログインはユーザIDとパスワードによる認証を想定しております。	無	
33	仕様書	20	3.1.(1)	<p>「運用スケジュール」の「外部システムとの連携を含むパッチ処理やバックアップ時間」においては、「計画停止の有無によらず、サービス提供時間後0:00～2:00の計画停止時間前までの間で実施する」に関して、外部システム連携の想定データ量を教えてください。</p> <p>また、時間内に完了しない場合の対応もご教示ください。</p>	<p>現時点で夜間パッチ処理の種類や連携データは未確定であるため、ご参考までに現行の情報を本公示の際に開示いたします。</p> <p>日次処理が完了しないと翌営業日の業務を開始できない場合があるため、万が一パッチ処理が失敗した場合には、業務開始時刻までにリトライを実施し、処理完了を目指す必要があります。</p>	無	
34	仕様書	22	3.3.(4)	(4)サポート体制の問い合わせ・障害対応L1（一次受付・切り分け）に関して、月間に発生すると想定されている件数はどの程度でしょうか。差し支えなければ直近1年の月別問合せ件数をご教示ください。	ご参考として、直近1年間の問い合わせ件数は約3600件となります。各月おおよそ300件となります。	無	
35	仕様書	23	3.4.(3)	「データ移行」に「現行システムの必要なデータ（業務データ、ユーザ情報、ログ等）を正確かつ安全に新環境へ移行すること」ありますが、具体的に実行する予定のデータの種類とデータ量（カラム数、レコード数、ファイル数、各種種類ごとのバイト数）をご教示ください。	対象となるテーブル数や項目数などの規模感につきましては、参考として現行情報を本公示の際に明示し、事業者間で前提条件を揃えたうえでご提案いただけるよう配慮いたします。	無	
36	仕様書	44	4.14(8)	「(8)強制バージョンアップや計画的なアップデートが実施される場合、関連するシステムとの連携部分について、影響評価と連携テスト（稼動確認）を必須とする。テストの計画と結果は、発注者側の関連システム部門と共有し、承認を得ること」と記載がありますが、本調達の事業者はあくまでPMSシステム部分のみが対象の認識で良いでしょうか。	本調達の事業者による影響評価と連携テストの実施対象範囲についてはPMS部分のみが対象の認識でございません。	無	
37	仕様書	9	1.6 作業スケジュール	<p>設計開発は2026/5～2027/12の20ヶ月、運用保守は2028/1～2029/3の15ヶ月となっておりますが、今回はマイグレーションではなく、新規開発ということを踏まえますと、上流工程で時間がかかることが想定され、今の期間ですと、十分な品質を確保した上で進めることが難しいと考えています。</p> <p>繁忙期を避けるためにこのようなスケジュールとなっているものと認識しておりますが、設計開発期間を長く設けて考えております。</p> <p>（例えば、繁忙期は避けつつ、設計開発は2026/5～2028/6の25ヶ月、運用保守は2028/7～2029/3の10ヶ月とする等。）</p> <p>現行システムの稼働期間との兼ね合いもあるかと存じますが、こういった提案をさせていただく事は可能でしょうか。</p>	現時点でシステムのリリースタイミングの変更是想定しておりません。	無	
38	仕様書	16	表3機能一覧	現行システムのワークフローにつきまして、パッケージ製品等を導入されておりませんようどうぞ。導入されている場合は、製品名をご教示いただけますようお願い申し上げます。	導入しておりません。	無	
39	仕様書	16	表3機能一覧	<p>ワークフローのご利用人数について、以下の認識で相違ないかご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常アカウント：1,500名</li> <li>・ゲストアカウント：20,000名</li> </ul> <p>併せて、想定される同時アクセス数もご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>ワークフローの利用人数について、認識の内容で問題ございません。</p> <p>（想定する同時アクセス数についてはNEDO確認のため回答保留）</p>	無	
40	仕様書	22	3.3(2)保守運用	<p>「運用・保守の範囲内で発生する軽微な改修については、通常運用・保守作業の範囲内で年間20件まで対応する」との記載につきまして、件数ではなく人月（〇人月まで）での表記へご変更いただけとは可能でしょうか。</p> <p>難しい場合、過去の実績として、何人月程度の改修が発生したのか、表記いただけないでしょうか。</p>	ご提案の「人月」での表記につきまして、軽微な改修の性質上、作業の内容や規模が案件ごとに異なることから、「人月」ではなく「件数」で表現する方が実態に即しており、より適切であるとの結論に至っています。 <p>過去実績の「人月」換算については、参考として提供可能かどうか、検討いたします。</p>	無	
41	仕様書	30	4.2要件定義	前工程で作成された要件定義書（案）を閲覧させていただくことは可能でしょうか。	本公示の際に、要件定義書（案）を開示します。	無	
42	-	-	-	具体的な移行データ量の要件がないように見受けられましたが、本公司の際には要件として記載いただけるという認識でよろしいでしょうか。	本公示の際に、参考として現行情報を開示します。	無	
43	-	-	-	現行システムの詳細な構成（OS、ミドルウェア、ソフトウェア、インテグリティの個数等）は本公示の際には閲覧資料等で確認が可能でしょうか。	本公示の際に、参考として現行情報を開示します。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
44	-	-	-	現行システムの基本設計書等は閲覧資料で確認可能でしょうか。 また、現行システムの機能数、画面数、帳票数、規模数（レコード数）、テーブル数等の規模についての情報は、仕様書に明記または閲覧資料で確認する事は可能でしょうか。	本公示の際に、参考として現行情報を開示します。	無	
45	全般	-	-	機能数は全体で90弱存在すると認識しました。他方で、現行あるいは今回に所要の帳票数と画面数についても、開発工数や工期の現実性ある提案、開発アプローチのご提案などに不可欠な要素になるため、関連情報の呈示をご検討いただけますと幸いです。	本公示の際に帳票・画面要件を含む要件定義書（案）と参考として現行情報を開示します。	無	
46	全般	-	-	現行PMSに関する貴機構内外ユーザーからの所感・意見についての情報を提案に向けて何からかのかたちで加えていただくが望ましいと考えます。	本公示の際には、参考としてシステム化構想書を開示予定であり、本書内で現行システムに対するユーザからの意見を記載しています。	無	
47	システム化計画書	85	6.2	現行PMSからのデータ移行について、現行PMSのデータ量（レコード数、ストレージ容量）および移行範囲と、現行システムからの移行データ抽出等の必要諸作業などにかかる貴機構、現行事業者と今回受託者の分担、実施時期についての制約有無などについてもお示しください。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	無	
48	全般	-	-	現行PMSと外部システム（会計システム、追跡調査支援システム等）との連携インターフェース仕様は開示いただけますでしょうか？また、次期PMSにおいてもこれらの接続先システムは継続利用される想定でしょうか？	本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。 次期PMSにおいて、既存接続先であるシステムは継続利用想定です。	無	
49	仕様書	26	4.1	設計・開発実施計画書（案）及び設計・開発実施要領（案）の提出が契約締結後営業日以内とありますが、契約締結後2週間以内に変更いただくことは可能でしょうか？	設計・開発実施計画書（案）及び設計・開発実施要領（案）の提出期限の変更予定はございません。 5営業日以内に受注者から（案）を提出いただき、その後発注者と受注者間の確認と調整をもって確定する想定です。	無	
50	仕様書	35	4.4	「テストの実施に当たり必要な費用は全て受注者負担すること」とあり、本作業項目に対してのみ費用負担に関する記載があります。特記すべき事項として、連携システムとの調整に係る費用やペナートレーショントストの外部委託費などが想定されると存じますが、そちらも含めてすべてという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
51	仕様書	41	4.13	本業務は開発工期が短いため、一定のタイミングで工程を区切り検収を進め、工程ごとに工程管理基準に適合可否を確認していただきたいと考えます。検収が完了後、請求させていただくことは可能でしょうか。 また、運用保守期間においては、運用・保守報告書の納品を毎月度で請求させていただくことは可能でしょうか。	ご質問の件につきましては、契約締結後に発注者と調整のうえ、検収および請求のタイミングを決定させていただきます。	無	
52	仕様書	49	7.2	「契約不適合責任については、契約条項に記載のとおりとする」とありますが、契約条項の開示をお願いできますでしょうか。	本公示の際に開示いたします。	無	
53	-	-	-	本調達において、応札者の提案に第三者製品の再販が含まれる場合、再委託先からの再販の可否について、落札後に協議させていただく余地がありますでしょうか。	再委託先からの再販は不可となります。	無	
54	仕様書	2	1.3.4	1.3.4の「データ構造化の拡大」について、現行システムにおける下記の実績値を記載いただけないでしょうか。  1.データベース（構造化データ）の総容量 2.ファイル（非構造化データ）の総容量 3.年間のデータ・ファイル増加量	本公示の際には、参考として現行情報を開示します	無	
55	仕様書	2	1.3.4	1.3.4の「データ構造化の拡大」に関して、下記3点を記載いただけないでしょうか。  1.データの保持期間 過去何年分を常時参照可能とするか 2.連携後のデータ処理 文書管理システム転送後のファイルをPMSから削除可能か 3.1件あたりの最大添付サイズ 1ファイルあたりの上限サイズや、1回の申請における平均的な添付ファイル数	本公示の際には、データ要件を含む要件定義書（案）を開示します	無	
56	仕様書	8	1.4.(3)	図3の現行構成ではNEDO職員様は専用線接続ですが、次期システムでも物理的な専用線や閉域網が必要となるか記載いただけないでしょうか。 端末認証やMFA、IP制限、クライアント証明書等の対策を講じた上で、インターネット経由でアクセスする形態が許容されるかも併せて記載いただけると幸いです。	ご意見いただきました内容について、仕様書への反映は予定しておりません。	無	
57	仕様書	21	3.2.(1)	3.2(1)の外部ユーザからのアクセスセッション数について、現行システムにおける下記数量を具体的に記載いただけないでしょうか。  1.「年に数回（申請時のみ）を利用するユーザー」と「日常的に利用するユーザー」の比率 2.「日次のユニークログインユーザー数」（1日に1回以上ログインした個別のユーザーの合計人数）	ご要望いただきました外部ユーザに関する情報につきましては、開示可能な範囲で資料等に記載します。	有	「ユーザ数 内部ユーザー：約1,500名 外部ユーザー：約20,000名（現行参考情報：内半数が1回以内にログイン）」に修正する。

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
58	仕様書	32	4.3.(3)	4.3.(3)の環境定義に項目で以下記載がございます。 「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスが提供する資源（OS、ミドルウェア）や…」 この記載について、以下のように「等」を加えていただけないでしょうか。 「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスが提供する資源（OS、ミドルウェア等）や…」	記載を変更いたします。	有	「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスプロバイダが提供する資源（OS、ミドルウェア等）」に修正する。
59	仕様書	2	1.3.5.	1.5.業務追加・変更への柔軟な対応においてこれらの機能を利用して新規機能や機能の追加を行うのはシステム担当職員の認識でよろしいですか、また、作成された帳票や機能の管理（NEDO職員機能一覧やNEDO職員帳票一覧の管理も含む）は職員様にて実施いただく認識でよろしいでしょうか。	帳票様式設定機能を用いた帳票様式の追加・変更および登録帳票の管理は、システム管理担当の職員により実施する想定です。 ノート機能は、業務変更発生時に、ベンダによる機能開発までの暫定機能を作成する想定であり、当該暫定機能の追加・変更および管理も帳票様式と同様にシステム管理担当の職員が実施する想定です。	無	
60	仕様書	7	1.4.図2	図3にはASPが存在しますが、図2では存在しません。どちらが正しい状態でよろしいでしょうか。	図2は次期のシステム利用イメージを示しており、図3は現行システム構成を示しています。	無	
61	仕様書	8	1.4.表2	新規会計システムに対する移行作業は本調達の範囲外という認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
62	仕様書	8	1.4.(3)図3	PMSの刷新範囲は凡例の「PMS範囲」に該当する個所と認識してよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
63	仕様書	8	1.4.(3)図3	PMS刷新に伴う稼働基盤については既存のOCIを利用する等の製品指定はないという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
64	仕様書	8	1.4.(3)図3	PMS範囲はOCI以外のクラウド環境にて実装する際、既存のOCI基盤側との間に業務で利用する専用回線のインターフェースが必要となりた場合は専用回線のポートはご用意いただけるとの認識でよろしいでしょうか。	既存環境に変更を加える作業については現行事業者に依頼する予定です。	無	
65	仕様書	8	1.4.(3)図3	運用管理サーバは刷新範囲対象外となっています。一方3.3.(1)や3.5.(7)に運用管理サーバの記載があります。運用管理サーバは現在使用しているサーバをそのまま継続使い、必要はソフトウェアや設定などを追加する前提でよろしいか。それとも新規の運用管理サーバを新規に構築することも可能でしょうか。	次期PMSで利用する運用管理サーバは本調達範囲で新規に構築予定です。一方、現在使用している運用管理サーバは、次期では周辺の既存システムの運用管理のために継続利用予定です。	無	
66	仕様書	8	1.4.(3)図3	既存の運用管理サーバにソフトウェアなどの追加を行う必要がある場合、その作業は「プロジェクトマネジメントシステム等のクラウド基盤への移行及び運用保守等業務」が行う作業となるでしょうか。	次期PMSで利用する運用管理サーバは本調達範囲で新規に構築予定であり、既存の運用管理サーバへのソフトウェアの追加等は想定しておりません。	無	
67	仕様書	8	1.4.(3)図3	現行PMSのシステム構成の概要是図3に記載されておりますが、次期PMS向けのサーバ構成（台数、スペックなど含む）は提案に含むものという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
68	仕様書	8	1.4.(3)図3	関連システム（認証サーバや会計系システム等）は次期PMS稼働後も当面は現状の環境に残る認識でよろしいでしょうか。また、次期PMSへの接続にあたり関連システムのアドリ、基盤とともに設定変更が必要になる場合は既存の保守センターが関連システム側の設定変更を行う認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
69	仕様書	8	1.4.(3)図3	以下のそれぞれの項目のうち本調達の範囲となるものはどちらでしょうか。また、それぞれ何個用意する必要があるでしょうか。 ・PMS用サブメインの管理 ・PMSへのInternetアクセス用のグローバルIPアドレスの管理 ・PMS用サブメインのHTTPS証明書の管理	ご質問いただいた各項目について、現時点での本調達範囲および必要数の想定は以下の通りです。 1. PMS用サブメインの管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：原則としてPMSシステム用に1個のサブメインを用意する想定です。 2. PMSへのInternetアクセス用のグローバルIPアドレスの管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：PMS公開用サービス（Webアプリ/API等）の構成に応じて1個以上必要となりますが、現時点では1個で運用可能と想定しています。 (ただし、冗長化や分散構成の場合は追加で必要となる可能性があります) 3. PMS用サブメインのHTTPS証明書の管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：上記サブメインに対応するHTTPS証明書が1枚必要となります。 なお、実際の必要数は、構成設計次第という認識でございますので、応札者からのご提案に依存すると理解しております。	無	
70	仕様書	9	1.6.	MDMフェーズ2のスケジュールが次期PMS構成の詳細設計後となるため、次期PMSにもつマスターのレイアウトに合わせてMDMから連携していくだけという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
71	仕様書	10	2.1.	【マルチデバイス利用】について、スマートフォンなどからのアクセスは貴機構が職員に貸与している機器に限定するという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
72	仕様書	10	2.1.	スマートフォンやタブレットからのアクセスを想定されていますが、対象の機器カテゴリ（スマート、タブレット・OS・バージョン・プラウザ）を業務システム単位ご教示ください。	対象機器は、PCおよびスマートフォンとなり対象OSはWindowsおよびiOSを想定しております。	無	
73	仕様書	12	表3 機能一覧	他システム連携で現行PMSでは、他システムがDB-Linkを用いて現行PMSのデータを参照していますが、DB-Linkによるデータ連携方式は廃止と認識でよろしいでしょうか。	調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。	無	
74	仕様書	12	表3 機能一覧	他システム連携で現行PMSでは、他システムが参照するためだけの、旧PMS（現行PMSの前のシステム）のデータ構造を持ったデータベースが存在します。それらのデータは次期PMSで廃止となる認識でよろしいでしょうか。	調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
75	仕様書	15	表3 機能一覧-基本機能-文書一覧表示	システムに実装される帳票数のご提示をお願いいたします。その際、どの帳票がどのようにあるのかご提示をお願いいたします。 パターンA：Web入力形式（Web+構造化） パターンB：ファイルimport形式（ファイル+構造化） パターンC：ファイルアップロード形式（ファイル+非構造化）	本公示の際に、帳票要件を含む要件定義書（案）を開示します。	無	
76	仕様書	17	表3 機能一覧-システム間連携	機能一覧に○○○システムへ連携とありますが、対象について外部インターフェース一覧のご提示をお願いします。送受信システム（FROM-TO）・連携方式（API・ファイル送受信など）・想定件数・周期（日々・随時、その他）も合わせてご教示をお願いします。	本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。	無	
77	仕様書	20	3.1.(1)	「システムのサービス提供時間は『原則として』毎日7:00～23:00とする。」とありますが、この提供時間から変動させる（特に拡大する）必要があるケースはどのようなものがあるご教示をお願いします。またその発生頻度やその場合に稼働時間をどのように調整すべきかについてもご教示をお願いいたします。	いくつか想定されるケースはあると考えておりますが、「利用者からの要望により、一時的に提供時間を拡大する必要がある場合」「利用者の集中が見込まれる特定期間」などが主になります。稼働時間を変更する必要が生じた場合には、事前に関係者間で協議の上、利用者への周知を行ったうえで、臨時に提供時間を拡大するなど柔軟に対応することを想定しております。	無	
78	仕様書	20	3.1.(1)	「サービス提供時間ではない時間」は「ユーザがシステムにWebアクセスしての利用はできないが、システムとしてはバックエンドの連携等を行っており停止していない時間」、「システム計画停止時間」は「バックエンド処理含めシステム内での処理は行わない時間」という認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
79	仕様書	20	3.1.(1)	サービス時間の拡充が求められる場合とありますが、いつ頃を想定しているでしょうか。確定していないのであれば、6:00～24：00を想定して体制を検討しますがよろしいでしょうか。	サービス提供時間の拡充とは、サービス提供時間以外の時間帯も対象となることを指しております。体制検討にあたっては、ご提示されているような前提条件を設定した上でご検討いただいても問題ないと考えております。	無	
80	仕様書	20	3.1(1)	運用スケジュールを適用する対象機能は「A.NEDO機能群」「B.事業者機能群」「C.成果報告管理機能群」の3機能群すべてが対象という理解でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
81	仕様書	20	3.1.(1)	運用スケジュールを適用する対象環境は本番環境であり、ステージング環境・検証環境については本運用スケジュールの対象外という認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
82	仕様書	20	3.1.(1)	「外部システムとの連携含むバッチ処理」とありますが、外部システムとの連携で必要なバッチ処理一覧をご教示ください。	次期システムでの具体的なバッチ処理一覧につきましては、現時点ではまだ確定しておりません。今後の要件定義や設計の過程で詳細を整理し、必要な処理一覧を明確にしていく予定です。	無	
83	仕様書	20	3.1.(4)	RTO(目標復旧時間)が4時間以内とありますが、基盤系の障害によるシステム停止の場合という認識でよろしいでしょうか。	システムに対するRTOとなりますので、特定の障害（基盤系のみ、アプリケーションのみ等）に限定せず、システム停止を伴うあらゆる障害を対象としています。	無	
84	仕様書	21	3.1.(6)	リーフォン全体の障害への対応において、データの遠隔地バックアップが挙げられておりますが、他システムも同様に同じ新面でのデータを保持、復旧できるという前提でよろしいでしょうか。	本要件は、自システム単独でのデータ保全と復旧体制を確立することを第一の目的としています。その上で、可能な範囲で他システムとの連携や全体最適も今後検討してまいります。	無	
85	仕様書	21	3.2.(1)	ユーザ数の想定の内、外部ユーザは約20,000人となっていますが、事業者ユーザが成果報告機能を利用するユーザはそれなり規模を違うと想定します。事業者ユーザと成果報告管理機能を利用ユーザのそれぞれの想定ユーザ数をご教示ください。	ご要望いただきました外部ユーザに関する情報につきましては、開示可能な範囲で閲覧資料で掲示いたします。	無	
86	仕様書	21	3.2.(1)	本项目的の記載は2025年度時点の値と想定しておりますが、次期PMSの想定ライフサイクルは何年程度であり、ライフサイクル完了時（次期PMS稼働最終年度）の内部ユーザ数、外部ユーザ数、アクセス規模はそれぞれ何件程度を想定しているでしょうか。	本公示の際に閲覧資料として提示予定の要件定義書（案）においては、ライフサイクル期間や利用者数などの増加率について記載いたします。	無	
87	仕様書	21	3.2.(1)	ライフサイクル完了時のデータ量（プロジェクト件数、契約件数、文書件数、成果報告件数）の想定をご教示ください。	本公示の際に閲覧資料として提示予定の要件定義書（案）においては、データ量の増加率について記載いたします。	無	
88	仕様書	21	3.2.(2)	画面表示にかかる時間は接続元の端末性能や回線状況によって影響される値であると認識しています。 「特殊な検索など」については個別に協議する旨の記載がありますが、全体の画面表示時間についても詳細な計測方法等は別途協議により最終決定するという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
89	仕様書	22	3.3.(2)	「軽微な改修を年20件」とありますが、例えば、年度末直前に20件全件を対応することは難しいため、月ごとの対応件数を設定する、年度末対応の締め切りを設ける等、実施可能な条件を事前に定義することは可能でしょうか。	ご提案いただいた「月ごとの対応件数の上限設定」や「年度末対応の締め切り設置」については、必要に応じて検討させていただきたいと考えております。	無	
90	仕様書	22	3.3.(2)	「運用・保守計画書やマニュアルを整備・定期的に見直し」があるが、改定の頻度は、提案の範疇と認識してよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
91	仕様書	22	3.3.(3)	「運用時間は24時間365日（または発注者と合意した時間）」とありますが、ここで発注者と調整できる範囲をご教示ください。	運用時間については、基本的に24時間365日対応を前提としてご検討いただきたいと考えております。「発注者と合意した時間」との記載は、特別な事情ややむを得ない場合に限り、双方合意の上で一時に運用時間を調整する場合を想定したものです。	無	
92	仕様書	22	3.3.(4)	ヘルプデスクとは別に24時間365日対応可能な運用監視体制には、サーバーログ等、24時間監視を行うチームを本調達内で準備するという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
93	仕様書	22	3.3.(5)	情報セキュリティ監査に協力することもありますが、監査の内容とその実施頻度をご教示ください。 ※「P48 6.4 情報システム監査」の記載も同様	情報セキュリティ監査への協力についてですが、現時点では監査の具体的な内容や実施頻度について確定している事項はございません。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
94	仕様書	23	3.1(6)	リージョン全体の障害への対応において「リージョン全体に障害が発生した場合に備え、データを遠隔地(他リージョン等)へバックアップ保管すること」との記載がありますが保存先のリージョンについては国内、国外の制限は特にないものとの認識でよろしいでしょうか。	基本的には国内を想定しております。	無	
95	仕様書	23	3.4.(2)	「段階移行方式を採用し」とありますが、段階的に移行するのであればサービス開始が2027年1月からではなく、段階移行を開始した時点でサービス開始になると認識しています。仕様書図4の「移行」の段階で、該当する新システムの機能、移行済み案件は新システムで稼働させるという認識でよろしいでしょうか。	新システムの稼働開始については、現時点では2028年1月を目指していることが前提となります。移行方式につきましては、段階移行の進め方やタイミングについて、受注者側にもご検討いただき、2028年1月の本格移行に向けた移行計画の策定をお願いしたいと考えております。	無	
96	仕様書	23	3.4(3)	システム移行において「現行システムの機能・設定・インターフェース等をクラウド環境へ確実に移行すること」との記載がありますが現行システムの稼働基盤にて提供されている機能、設定は提示されるとの認識でよろしいでしょうか。	システム移行にあたり、現行システムの機能・設定・インターフェース等、移行に必要な情報については、必要に応じて提供できるよう対応いたします。	無	
97	仕様書	23	3.4(3)	データ移行において「現行システムの必要なデータ(業務データ、ユーザ情報、ログ等)を正確かつ安全に新環境へ移行すること」との記載がありますが既存のOCU基盤側との間に専用の移行用回線が必要となる場合は移行用回線の専用ポートはご用意いただけるとの認識でよろしいでしょうか。	データ移行に際して専用の移行用回線や専用ポート等、必要となる要件をご提示いただければ、可能な限り対応する想定です。	無	
98	仕様書	23	3.4.(3)	現行の外部ストレージに格納されている各種オブジェクトは移行対象外と認識してよろしいでしょうか。	調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。	無	
99	仕様書	23	3.4.(3)	各種帳票はアプロードされているオブジェクトをそのまま移行する認識です。非構造化データから構造化される項目についても非構造化データを用いていたる認識でよろしいでしょうか。なお受注者側に応じ必要な場合、現行システムでファイルまたは非構造化しているデータが構造化されるデータ量をご教示ください。	非構造化データから構造化される項目の移行用データ作成につきましては、基本的に受注者ご対応いただくことを想定しております。現時点では現行システムにおける該当データ量の具体的な数値はお示しできませんが、参考として帳票の一覧につきましては閲覧資料にて提示予定です。	無	
100	仕様書	24	3.4.(3)	データクレンジングについて、ここでクレンジングは基本的にデータマッピングの事であると認識してよろしいでしょうか。マスクについては、MDM、情報系システムでクレンジングが実施されている認識で、次期PMSはクレンジング済のマスクが配信される認識です。(次期PMSのみで持つ標準化されないマスクは除外)	ご認識の内容で問題ございません。	無	
101	仕様書	24	3.4.(3)	データクレンジングについては、移行時に変換ロジックに対応するものなく、未入力や不正な値など元データ（現行システム）を修正する必要がある場合があると考査ます。この場合、データマッチは行わず現行システム上で修正する認識でよろしいでしょうか。（現行システムで変更できない不備は別途検討。）	ご認識の内容で問題ございません。	無	
102	仕様書	24	3.5.(3)	セキュリティ診断を外部に依頼したあと、問題があった場合、プログラムの修正、設定変更後に再度外部の診断を受ける必要があるでしょうか。	セキュリティ診断の結果、問題が確認された場合には、必要に応じてプログラムの修正や設定変更後、指摘された診断結果の重要度を踏まえ、再度外部診断の実施が必要となる可能性はございます。	無	
103	仕様書	24	3.5.(3)	「外部向けWebサイトについては、定期的にWebアプリケーション診断を実施すること」ありますが、定期的な頻度について具体的なご指導をお願いします。	定期的なWebアプリケーション診断の頻度につきましては、設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。	無	
104	仕様書	24	3.5.(5)	「事業者向け外部サイトでは多要素認証を実装すること。」とありますが、多要素認証は採用する方法で認証の強度などが異なり、かつ実装方式によって導入コスト、運用コストも異なることがあります。どのように多要素認証を実装することを想定しているのがご教示をお願いします。	多要素認証の具体的な方式につきましては、認証の強度や導入・運用コスト等も踏まえ、受注者にて最適な方式をご提案いただくことを期待しております。	無	
105	仕様書	24	3.5.(10)	「Webアプリケーションのセキュリティ診断・脆弱性対応を定期的に実施すること。」とありますが、定期的の頻度について具体的なご指示をお願いします。	設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。	無	
106	仕様書	24,25	3.5.(3),(10)	(3)セキュリティ診断、(10)Web対策 Webアプリケーション診断の実施方法や診断プログラムや診断企業選定について、必要な認定等の指定はあるでしょうか。	現時点で指定等は特段ございません。	無	
107	仕様書	24,25	3.5.(3),(10)	(3)セキュリティ診断、(10)Web対策 実施方法について、例えば本番環境での診断実施は業務影響が発生する可能性があるため、本番システムサービスを停止する、検証環境で診断を行う等の調整は可能でしょうか。	診断の実施方法につきましては、業務への影響や作業環境等を踏まえ、受注者から最適な方法をご提案いただくことを期待しております。	無	
108	仕様書	24	3.5.(3),(10)	(3)セキュリティ診断、(10)Web対策 Webアプリケーションのセキュリティ診断や脆弱性対応について「定期的に実施」と記載されていますが、頻度（年1回程度等）の指定はあるでしょうか。	定期的なWebアプリケーション診断の頻度につきましては、設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。	無	
109	仕様書	24,37	4.6.(3)	P24 1行目「データ移行では、データクレンジングや必要となるモジュールの検討・実装を実施すること」とありますか?ページの「現行業者がデータの抽出・提供・移行支援を円滑に実施できるよう」と実施者に矛盾があると思われます。どちらの記載が正しいでしょうか。	移行作業の主体は本調達の受注者となります。現行システムからのデータ抽出や必要な支援についても、現行事業者が受注者をサポートすることを想定しております。	無	
110	仕様書	26	4.1.	契約締結後5営業日以内に『設計・開発実施計画書（案）』、「設計・開発実施要領（案）」については案をご提示し、詳細についてはその後レビュー等を経て完成版にするといふ段取りを想定しておりますが、認識は合っておりませんか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
111	仕様書	28	4.1.(4)品質管理	本調達とは別の「仕様書_次期プロジェクトマネジメントシステムの調達に伴う支援業務.pdf」ではP6 ⑥品質管理「プロジェクトの進行に応じた品質評価基準を定め・」とあります。品質評価基準は、工程管理支援業者の基準と受注者の品質評価基準どちらを適用するのでしょうか。	品質評価基準については、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。	無	
112	仕様書	28	4.4.(4)変更管理③(ア)	「要件の追加・変更が発生した場合は、変更管理委員会で審議・承認を受けること」とありますが、この審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。	変更管理は、受注者が作成・提案する実施計画書内のプロジェクト管理方法に沿って運用する予定です。実施計画書（案）は受注者が作成し、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1~2週間程度」を自安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。	無	
113	仕様書	28	4.1.(4)変更管理③(ア)	「変更管理委員会」の構成メンバーをご教示ください。	変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。	無	
114	仕様書	28	4.4.(4)変更管理③(イ)	「設計書・仕様書の変更是変更申請書により申請し、重要な変更是変更管理委員会で承認を得ること」とありますが、この審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。	変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1~2週間程度」を自安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。	無	
115	仕様書	28	4.1.(4)変更管理③(イ)	「変更管理委員会」の構成メンバーをご教示ください。	変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。	無	
116	仕様書	28	4.4.(4)変更管理③(ウ)	「テスト計画・仕様の変更是変更管理台帳に記載し、重要な変更是変更管理委員会で承認を受けること」とありますが、この委員会はどのような委員会でしょうか。またこの審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。	テストフェーズにおける変更管理委員会とは、テスト計画やテスト仕様書に関する重要な変更（テスト範囲の見直し、テスト方法、品質基準、スケジュール変更、等）が発生する場合に、変更による影響範囲、リスクおよびその対策等について関係者間で協議し、変更をプロジェクトとして許容するのか審議・承認するための委員会を指します。 具体的な変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1~2週間程度」を自安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。	無	
117	仕様書	28	4.1.(4)変更管理③(ウ)	「委員会」の構成メンバーをご教示ください。	変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。	無	
118	仕様書	29	4.4.(4)③(イ)	「移行手順や対象データの変更是変更管理台帳に記載し、リスク評価のうえ、必要に応じて委員会で承認を得ること」とありますが、この委員会はどのような委員会でしょうか。またこの審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。	移行フェーズにおける変更管理委員会とは、移行に関する重要な変更（移行方法の切り替え、移行対象データ範囲の追加・変更、スケジュール変更、等）が発生する場合に、変更による影響範囲、リスクおよびその対策等について関係者間で協議し、変更をプロジェクトとして許容するのか審議・承認するための委員会を指します。 具体的な変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1~2週間程度」を自安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。	無	
119	仕様書	29	4.1.(4)③(イ)	「委員会」の構成メンバーをご教示ください。	変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。	無	
120	仕様書	30	4.1.(4)	「報告は原則として対面開催」とありますが、対面会議を実施する場所をご教示ください。	川崎・品川・霞が関近郊の事務所を想定しております。	無	
121	仕様書	30	4.2.	「受注者は、設計・開発の実施に先立ち、…要件の漏れや粗悪がないことを確認すること」と記載がありますが、「要件の漏れや粗悪がないことは要件定義書（案）と何を比較して確認を行う前提でしょうか。	ご指摘の「要件の漏れや粗悪がないこと」については、本調達において要件定義書（案）を最終的な確定版とするご要望を承っております。 要件の抜け漏れや粗悪の確認方法につきましては、応札者各社のご提案に委ねる方針としております。	無	
122	仕様書	30	4.3.(1)	「ソリューションに合わせた詳細な要件定」と記載されていますが、基盤で採用するクラウドサービスやDBMSの選定も提案した製品が採用されるという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
123	仕様書	34	4.4.	現PMSおよび会計などの周辺システムの既存のステージング・検証環境は別に次期PMS切替実験期間や検証期間に向けたテスト環境が必要と考収ますが構築は可能でしょうか。	接続は可能だが、次期では疎結合を目指しており、DBリンク等の直接的な連携は想定しておりません。 そのため、既存へ影響出さずにステージング・検証環境への接続可能と想定しております。	無	
124	仕様書	35	4.4	単体テスト、結合テスト、総合テストの仕様書について、「発注者の了承を得たうえで、テストを実施すること」とあります。が、試験仕様書は膨大な分量になため、本体内容レビューではなく、計画、概要の説明などを丁寧に承りたいだけとを実施するという段取りにすることは可能でしょうか。	テスト仕様書が膨大な分量となる場合、全体の計画書やテスト方針、試験概要等を中心に発注者へ説明いただいたうえで、特性や内容に応じて一部サンプリングやポイントレビュー等の方法で確認する運びとなります。 詳細なレビュー手順やレビュー範囲・確認方法については、受注者から提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。なお、重要機能やリスクの高い部分については、発注者の要望に応じて個別に詳細レビューを行なう場合がございます。	無	
125	仕様書	35	4.5.	受入テスト計画書の作成について、要件では受注者がテストシナリオの概要や合否判定基準、品質評価方法などを作成する旨の記載になっていますが、本件は発注者側で決定すべき事項であると認識しております。これらについて要件から除外することは可能でしょうか。	受入テストの主管は発注者となります。各種ドキュメントや評価に関する案の作成・ご提案については、受注者にご支援いただくことを想定しております。	無	
126	仕様書	35	4.5.	受入テストの仕様書について、受注者としては必要な情報提供内容のレビュー支援は可能ですが、仕様書 자체は発注者が主体で策定すべきものと認識しております。これらについて要件から除外することは可能でしょうか。	受入テストの主管は発注者となります。各種ドキュメントや評価に関する案の作成・ご提案については、受注者にご支援いただくことを想定しております。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
127	仕様書	36	4.6.	移行対象のマスタおよびトランザクションの想定本数をご提示いただくことは可能でしょうか。MDMのフェーズ1でのマスタは情報系での参照及びDB連携の方式変更が目的であります。でもないものも対象となっている認識です。なお、フェーズ2において見直しが行われる認識です。	現時点では移行対象のマスタおよびトランザクションのデータについて、論理レベルでの具体的な想定本数まではご提示できかねますが、本公示の問覧資料および今後提示予定の要件定義書（案）にて、データ要件に関する内容をお示しする予定です。	無	
128	仕様書	36	4.6.	マスタの移行については、MDMで共通化されないPMSのみで使用するマスタのみの認識でよろしいでしょうか。 共通化されるマスタはMDMチームにて移行する認識で本調達の範囲外と認識しております。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
129	仕様書	36	4.6.	次期PMSに移行するトランザクションの現行ベースの本数・件数をご教示ください。	現時点では移行対象のマスタおよびトランザクションのデータについて、論理レベルでの具体的な想定本数まではご提示できかねますが、本公示の問覧資料および今後提示予定の要件定義書（案）にて、データ要件に関する内容をお示しする予定です。	無	
130	仕様書	37	4.6.(2)	「現行業者がデータの抽出・提供・移行支援を円滑に実施できるよう」ありますが、現システムからのデータ抽出は現行業者の作業であり本調達の見積範囲外と認識してよろしいでしょうか。	移行作業の主体は本調達の受注者となります。現行システムからのデータ抽出や必要な支援については、現行業者が受注者をサポートすることを想定しております。	無	
131	仕様書	37	4.6.(3)	データ移行ツールとは、現行システムから抽出された、あるいは手動作成したデータを次期PMSに取り込む機能という認識で合っているでしょうか。	ご認識の通り、現行システムから抽出されたデータや手動作成されたデータを次期PMSのデータ形式へ変換し取り込む機能を想定しております。具体的な移行方式を踏まえ、必要となる機能や詳細設計については受注者にて検討・設計いただくことを期待しております。	無	
132	仕様書	38	4.7.(3)	「演習環境を用意すること」とあります。本環境は仕様書図4中の「教育」「NEDO職員教育」「事業者教育」の期間に準備するという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。スケジュールについては現時点での想定となるため、受注者側から必要となる期間を検討・設計いただくことを期待しております。	無	
133	仕様書	38	4.7.(3)	教育対象者が操作を体験できる演習環境について、受注者が準備すべきものは、試験環境への接続設定や演習用アカウントの準備という認識でよろしいでしょうか。ここで末端の準備は不要でしょうか。 また、演習環境は本番環境とは別のステージング環境や検証環境を活用する前提でも問題ないで消化。	教育の内容や実施方法につきましては、どのような教育を実施されるかを含め、受注者にてご検討いただけます。それに伴い、教育が必要となる環境についても、受注者様にて用意いただくことを基本とし、末端の準備や環境の提供についてはNEDO側で対応可能かも含めて、今後協議の上で決定していく想定です。 演習環境においては、本番環境とは別のステージング環境や検証環境を活用する形でも問題ございません。	無	
134	仕様書	38	4.7.(3)	講義形式での教育を実施する場合、実施場所は貴機構内で実施する前提でよろしいでしょうか。	講義形式での教育の実施場所につきまして、NEDO職員に対しては原則として弊機構内の実施を想定しております。	無	
135	仕様書	39	4.9	引き継ぎ先が構築ベンダーと別ベンダーとなるか否かが確定する時期はいつ頃を想定しているでしょうか。基本的に、準備や引き継ぎ作業を含めて3月末までに全ての引き継ぎが完了しなければならないとの認識です。	ご認識の通り、本調達期間が完了する前までに引き継ぎが行われる必要があります。その前提の受け、引き継ぎ計画等を両者にて検討いただく想定です。	無	
136	仕様書	39	4.10.(1)	定例会を週1回程度開催する旨の記載がありますが、これは設計・開発フェーズであり、運用・保守フェーズには適用されないと認識でよろしいでしょうか。	設計・開発フェーズでは、定例会を週1回程度開催する運用を必須とします。運用・保守フェーズについては、プロジェクトの進捗状況や業務内容に応じて、定例会の頻度や開催方法を設定します。	無	
137	仕様書	41	4.13.(1) No.5	「設計・開発工程の各種会議資料(進捗状況報告、課題管理表、リスク管理表等)」の関連工事が「要件定義工程」になっていますが、要件定義工程以降の工程における各種会議資料は、成果物に含まれないのでしょうか。	誤植であり、全工程における各種会議資料が成果物となるため、修正いたします。	有	「各種会議資料（進捗状況報告、課題管理表、リスク管理表等）」「工程：全工程」に修正する。
138	仕様書	42	4.13.(1) No.14,15	成果物に含まれる「テスト証跡」、「テストデータ」について、提出が必要な工程をご教示ください。（単体／結合／総合テスト全各工程の全てが必須か） また、テストデータの量は膨大なため、全データを納品すると容量が相当大きくなるため、媒体はBD、USB等を利用すりよろしいでしょうか。	納品範囲となる「テスト証跡」、「テストデータ」および利用媒体については、発注者と協議の上、決定します。	無	
139	仕様書	43	4.13(1), No.29,No31	「29年度報告書」、「31完了報告書」等、2029年3月31日（土）が納品期限となっている納品物が存在しています。土曜日は貴機構の営業日ではない認識ですが、これらの納品タイミングについては別途協議という認識でよろしいでしょうか。	本調達では運用・保守も範囲に含まれているため、このような記載内容となっております。	無	
140	仕様書	44	4.14 (8)	「強制バージョンアップや計画的な技術アップデート」は、本システムだけでなく、本システムと連携する関連システムにおいても発生するご認識であり、その発生回数に応じて、「影響評価と連携テスト(稼働確認)」を実施する必要があるため、「強制バージョンアップや計画的な技術アップデート」の発生頻度をお示し下さい。	ご意見いただいた件における発生頻度の参考値は現時点でございません。	無	
141	仕様書	45	5.1.	項目5の「組織又は要員」にシステム設計・開発・保守チームがありますが、保守は対象外という認識でよろしいでしょうか。（保守が誤認との認識です。）	ご指摘のとおり、誤植であったため修正いたします。	有	「システム 設計・開発チーム」に修正する。
142	仕様書	46	5.3.(1)	「設計・開発業務・運用・保守業務」の作業場所は、受注者の責任において用意すること。また、必要に応じて担当職員が現地確認を実施することができるものとする。」とありますが、貴機構職員が現地確認を行う具体的なケースとしてどのような状況を想定しておりますでしょうか。またその想定頻度をご教示ください。	現地確認の具体的なケースとしては、作業現場のセキュリティ状況や作業体制の確認、業務の進捗状況の把握等、必要に応じて実施することを想定しております。 現地確認の実施頻度については、あらかじめ具体的な回数を定めておらず、必要に応じて実施するため、現時点ではお示しできかねます。	無	
143	仕様書	46	6.1.	情報取扱者名簿に国籍、住所、生年月日、パスポート番号の記載を求める要件について、個人情報保護の観点から過剰な情報収集に該当する可能性があります。 業務遂行に必要な範囲として、氏名・所属・役職程度で十分と考えます。提出義務を再検討いただけますでしょうか。	情報取扱者名簿に関するご指摘について、原則として氏名・所属・役職等、業務遂行に必要な範囲の情報をご提出いただくことを想定しております。 一方で、「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を発注者から求められた場合」と記載している通り、特定の状況において、発注者側がその理由を明確にしたうえで追加情報の提示をお願いする場合（経済安全保障推進法などを踏まえ）がございます。 この場合に限り、必要性・目的を説明した上で、追加項目のご提出を求めることがあります。	無	
144	仕様書	46	6.1.(1)	「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を（中略）提出すること」とあります。個人住所の提出を要求されるケースは利用目的を明確にしていただく必要があると認識しておりますが、これらの提示は必要でしょうか。	情報取扱者名簿に関するご指摘について、原則として氏名・所属・役職等、業務遂行に必要な範囲の情報をご提出いただくことを想定しております。 一方で、「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を発注者から求められた場合」と記載している通り、特定の状況において、発注者側がその理由を明確にしたうえで追加情報の提示をお願いする場合（経済安全保障推進法などを踏まえ）がございます。 この場合に限り、必要性・目的を説明した上で、追加項目のご提出を求めることがあります。	無	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
145	仕様書	48	6.4.(2)	情報システム監査で指摘された問題点の是正にかかる作業について、本調達内に追加契約での対応とすべきかは状況によって協議が必要あると認識しております。 【契約内】基盤やMWの設定変更程度で対応可能な問題点の対応 【別途契約】アプリケーションの修正を伴う必要がある問題点への対応	ご認識の通り、情報システム監査で指摘された問題点の是正作業については、本調達の範囲内で対応するか、追加契約での対応とするか、個別の状況に応じて発注者・受注者間で協議のうえ決定させていただくこととなります。	無	
146	仕様書	49	7.2	契約不適合の期間については、発注者が発注後1年内に受注者へ通知することができるという契約条項を想定しておりますが、実際に費用核算する場合、有識者等を配置したサポート体制の維持含め、非現実的な高額な費用になるのが実態のため、検収後1年内とすべきと考えます。	契約条項の変更予定はないため、本調達時に示す契約条項を確認してください。	無	
147	仕様書	50	9.1.(1)	サプライチェーンリスクに関する一覧を提出する期限が何時でしょうか。	本公示の際にご案内差し上げます。	無	
148	仕様書	50	9.1.(6)	「現行システム」とは2025年度現在稼働している「現行PMS」ではなく、「開発完了後運用保守中の次期PMS」を指す認識でよろしいでしょうか。	ご認識の内容で問題ございません。	無	
149	仕様書	全般		本仕様書の調達範囲にB1ツールの記載はございませんが、B1ツールは情報系システムで利用することで、本調達範囲では不要と認識してよろしいでしょうか。	仕様書の調達範囲にB1ツールの記載はございませんので、B1ツールの調達は必須要件ではなく、本調達範囲には含まれないと認識いただけで問題ありません。 なお、B1ツールの導入や連携についてご提案がある場合は、提案内容を発注者側で評価・検討いたします。	無	
150	システム化計画書	18	-	現行PMSでは事業者側でPDFが生成されますが、次期PMSではNEDO職員が確認ボタンを押下した場合のみ非構造化データの作成を行い、事業者側で帳票が生成されるケースは無いとの認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
151	システム化計画書	18	-	現行ではPMSにのみ存在する文書がありますが、次期では文書システムに保存された文書が正になるとの認識です。既存の契約などを次期システムに移行する際に、既存契約に紐づいているPMSにいか存在しない文書は文書システムに登録が必要でしょうか。必要な場合、登録は文書システム側で実施する前提でよろしく。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
152	システム化計画書	27	-	約款・交付規定作成システム（仮）の開発スケジュールをご教示いただきたいお願いいたします。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
153	システム化計画書	27	-	約款・交付規定作成システム（仮）から、確定版約款・交付規定情報の矢印がPMSCに伸びていますが、実際に約款・交付規定の新規登録・更新はNEDO約款・交付規定管理担当にて実施するものと理解しました。その場合、約款・交付規定作成システムとのIF連携が実在するでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
154	システム化計画書	31	-	現行ロールの整理（統合できる、削除できるロールの洗い出し）は貴機構（もしくは会計システム側）にて実施いただけるとの認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
155	システム化計画書	33	-	ダッシュボードのカスタマイズ機能は事業者側は特にカスタマイズの要件が無く、NEDO側TOP画面に対する要件という認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
156	システム化計画書	42	-	情報系システムの「データDL設定画面」で契約一覧と同様のエクスポート機能が実装される認識しております。その場合、本書に記載されているPMSでの契約一覧は不要ではないでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
157	システム化計画書	42	-	エクスポート機能は既存機能で存在していますが、契約種別毎に分けてCSVを作成しています。今回の要求事項は、契約種別毎にわけず、一覧画面で選択したものを全て一覧で出力することを想定したものでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
158	システム化計画書	45	-	承認行為を行う際に、画面で申請内容を閲覧できるようにリンク等を設けて書類類を確認してから承認ボタンを押下する操作をイメージしたのでしょうか。それとも単純承認のみでしょうか。あるいは、差戻し・コメント入力も想定されていますでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
159	システム化計画書	45	-	必要な機能としてはログイン機能（多要素認証（MFA）含む）、スタート・通知管理、承認業務機能のみと認識してよろしいでしょうか。この場合、承認行為のみであるためNEDO側機能のみと想定しております。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
160	システム化計画書	45	-	スマートフォンでの利用の場合、ブラウザでの利用を想定し、オフィティアアプリ等は用いないという認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
161	システム化計画書	48	-	「様式カスタマイズ機能」「新規フロー設定機能」「データストラクチャ機能」をノーコード、ロードコードで対応する認識ですが、別機能として、機能要件定義書に「JPN11U ノーコード・ロード開発」が存在します。本機能とJPN11Uは同一or別機能であるかをご教示ください。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
162	システム化計画書	51	-	「02_機能要件定義書」にて、下記の関連機能は確認できませんでした。本調達での実現対象外と認識してよろしいでしょうか。 ・チャットボットサポート ・決裁担当管理（現行は文書システム）	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
163	システム化計画書	64	保管期間	各システム（次期PMS、MDM、情報系など）に格納されるデータごとに、業務要件に基づいた保管期間を設定するとあるので、移行対象はこの保管期間相当と考えてよろしいでしょうか。また、想定している保管期間をご教示ください。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
164	システム化計画書	64	保管期間	保管期間以前のものを移行する場合、移行先は情報系システムによる想定しています。その場合は、本調達の対象外で情報系システム構築の調達の範囲として現行業者の対応となる認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
165	システム化計画書	68	-	ユーザーアクセス認証として多要素認証を用いる方針である旨の記載がありますが、これはVPNとの接続などを想定した内容であり、次期PMSへのアセスについての記載ではないという認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
166	システム化計画書	85	-	移行方式について、段階移行方式を選択されていますが、問題発生時の切り戻しや新旧データ整合性保持の難易度、利用者の過渡期対応の考慮が不足していると思われます。移行方式については受注者の提案により変更可能という認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
167	システム化計画書	86	-	段階移行方式を選択した場合、「データ同期方法やデータの整合性担保を実現するジッフの開発が必要」とありますが、これは現行PMS側と連携した開発が必須です。現時点で想定している同期方式と実施頻度（リアルタイム、日々、1時間ごと等）はござりますでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
168	システム化計画書	87	-	「ユーザ教育」「段階移行方式」に「段階的に次期PMSを導入することで…時間を確保」との記載がありますが、教育にリスクのある本番環境を利用せども、教育環境を使用可能することでも同等の効果が期待できます。教育環境での教育を前提することは可能でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
169	システム化計画書	87	-	「段階的に次期PMSを導入…時間を確保」の記載について、10月～12月の短期間では段階移行を行っても特定の機能しか利用せず、段階移行のメリットが生じないと想定します。過渡期対応だけのために使用する現行システムの改修とそのリスクは排除するために、段階移行方式採用の見直しを提案することは可能でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
170	システム化計画書	105	-	現行PMSに連名契約が存在していますが、次期PMSにデータを移行する際は、コンソーシアム契約として移行し、連名契約の機能自体は廃止されるという認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
171	システム化計画書	106	-	共有フォルダに関する機能がワーカーに記載がないように見受けますが、共有フォルダとはBOXのことであり、次期PMSには実装されない機能といい認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
172	システム化計画書	106	-	技術契約では契約が單一ですが、技組合下の事業者は事業者用PMS機能のPJ02A・事業者管理により、PMSユーザーとして登録される認識でよろしいでしょうか。 技組合用の共有フォルダを作成する際、事業者用のユーザーが作成されなければ、共有フォルダにアクセスできないと考えられるための確認です。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
173	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11	シート 「4-①_ 業者選 定・契 約(委 託)」	■業務変更（要 求事項）	コンソーシアム契約の場合、積算用総括表は複数事業者がそれぞれ項目別明細表を作成し、NEDOに提出するという認識でよろしいでしょうか。 ※実施計画書本文等はコンソーシアムで統一されたものが提出する等	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
174	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11 システム化計 画書	シート 「4-①_ 業者選 定・契 約(委 託)」	【要求事項】B076 項目別明細表の掲 出・整理	項目別明細表を構造化データとして取り込むには、事業者ユーザーの理解が必要と考えます。アプリケーションを作ることは技術的に不可能ですが、運用にあたっては貴機構内から事業者に対して理解を求めていただける認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
175	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11システム化計 画書	シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」	【要求事項】B016 検査プロセスの効率化	B016 検査プロセスの効率化に「定量情報と定性情報に基づくリスク評価を行い、リスクレベルを自動判定する。」と記載がありますが、定性情報は数値化が困難であり、リスクレベルを自動判定するような処理は難しいと想定されます。こちらについて具体的に処理内容をご教示ください。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
176	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11システム化計 画書	シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」	【要求事項】B021 検査メモの標準化	スマートフォンでの利用の場合、機能は「ステータス・通知管理」「承認業務機能」のみと記載がありますが、B021では検査メモのマスク機能も要求事項として記載されています。こちらの機能はPMS対象外の認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
177	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11システム化計 画書	シート 「10-①_ 確定検 査・精 算払(委 託)」	振替伝票を起票す る [PMS : JPN05A 検査情報管理]	振替伝票の起票は全ての業務ケースの場合で発生しますでしょうか。検査額に応じて振替伝票の起票が必要な業務ケースは存在しますでしょうか。 確定検査の検査額対象額が0円の場合、現行PMSでは振替伝票の起票を行っていません。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
178	次期PMS_ToBe 業務フロー・業務 1~11システム化計 画書	シート 「10-①_ 確定検 査・精 算払(委 託)」	振替伝票を起票す る [PMS : JPN05A 検査情報管理]	GI委託の契約終了時、中断時におけるインセンティブ額や返還額の処理ロジックについては要件の対象外となる認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
179	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「6-①_概算払(委託)」	【要求事項】B027 複数年度の支払処理の簡素化	「複数年度にわたる支払処理を簡素化（中略）1枚の伝票で完結できる。」とありますが、複数年度にわたる支払処理については、会計システムも併せて改修するという認識でよろしいでしょうか。 (年度の情報を送付しているため、会計側の処理も修正が必要になる認識です。)	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
180	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「7_年度未費用化」	フローの最後	年度末費用化実施後の遷移先として、確定検査が存在しませんが、年末度終了する契約であっても最終年度に年度末費用化は実施されない想定で相違ありませんでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
181	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「8-①_中間検査(委託)」	【要求事項】B017 帳票類の提出・整理	リスク評価を行う際に検査メモを利用するよという記載になっていますが、実際に検査メモの作成は、リスク評価の後に実施するフローであるため、順序の記載が正しくないと認識しております。フローを見直していただくことは可能でしょうか。 あるいは、別の契約の情報（検査メモ、検査結果）についての話でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
182	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「8-①_中間検査(委託)」	【要求事項】B017 帳票類の提出・整理	②判定結果を基に契約担当者は「実地検査」、「3表検査」、「遠隔検査」から検査方式を決定する旨の記載がありますが、後の図には「書面検査」「実地検査」のみ記載されています。検査方式について、「3表検査」と「遠隔検査」は、いずれも「書面検査を実施する」に該当するのでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
183	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「8-①_中間検査(委託)」	【要求事項】B017 帳票類の提出・整理	3表検査とは、「遠隔検査と実地検査で3表検査を行う」という認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
184	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「8-①_中間検査(委託)」	検査調書の起案を実施する	現行PMSでは検査員が確認した経費発生調書である旨を記録として残すために、検査調書の承認時に経費発生調書を「承認」文字を印字するとともに、事業者へ承認通知が行われます。次期システムでは該当の業務フローは廃止、または、置き換わっている認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
185	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「8-①_中間検査(委託)」	■業務変更（要求事項）	検査メモを作成・登録するフローの吹き出しに「特に実地検査においては、検査中にメモを取りことも想定されるところ、それに合わせてスマートフォン・タブレット向けのアプリ開発も必要である想定」と記載がありますが、本調達の対象でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
186	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「9-①_成果報告(中間年報)(委託)」	【要求事項】S068 業務分類に沿った機能配置	「Asisでは、成果報告の接受について「契約文書一覧」の共通文書一覧機能を用いているが、下記要求事項を踏まえて業務目的に合わせた機能配置とする」と記載がありますが、業務と文書を統一するものについては、プロジェクト文書一覧や契約文書一覧には表示されなくても問題はないという認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
187	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 1~11システム化計画書	シート「4-①_業者選定・契約(委託)」	【要求事項】B041 研究員・エフォート管理のシステム化	「研究員情報の統一的な管理のため、登録研究員の信頼性チェック及び情報登録をIMS上で実施する」とありますが、e-Rad研究者番号等の一意のキー情報を必須とされますでしょうか。研究機関名、研究者名等の情報から名寄せを行う場合、名寄せ機能に相当数の工数が発生します。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
188	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 12~27	シート「14_知財の出願(委託)」	■業務変更（要求事項）	「知財の出願に係る業務（産業財産権出願通知書の届出）について、PMSから独立したシステムで実施する」と記載されていますが、知財業務の産業財産権出願通知書の提出のみ知財管理システムに移管されるのか、「14_知財の出願(委託)」のすべてのフローが移管されるいざれでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
189	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 12~27	シート「14_知財の出願(委託)」		現行PMSから次期PMSに移行する際、移行元、移行先のデータマッピングは本調達において実施されると想定していますが、知財関連のデータマッピングは調達範囲外という認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
190	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 12~27	シート「23_追跡調査・評価」		成果フォロー・アップシステムと追跡調査支援システムは同義でしょうか。また、追跡調査支援システムから次期PMSにアンケート結果を連携と記載がありますが、どのようなIFを想定しているのでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
191	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 44~51	シート「45_帳票様式管理」		帳票様式の管理は原則、業務システム課様で対応し、運用・保守を担当しているベンダーは実施しなくて良いという認識でよろしいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
192	次期PMS_ToBe 業務フロー業務 44~51	シート「45_帳票様式管理」		帳票様式の管理は原則、業務システム課様で対応していただく場合、帳票一覧や帳票設計書の管理も業務システム課様で管理いただき、または、管理しない等の運用方針をご提示していただることは可能でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
193	次期PMS調達支援_機械要件定義書_JP107B 契約成果管理	シート「JP107B 契約成果管理」	【要求事項】B052：情報登録のWeb入力化	「事業者による…属性情報として保持できる」とありますが、契約成果の数も膨大であるため、プロジェクト成果管理と同様に「Web入力かおよびデータインポートにより登録できる」とようにする機能が必要であると認識していますが、実装することは可能でしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	

意見番号	文書名	頁番号	項目	意見	回答案	仕様書修正有無	修正内容
194	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN07C 財産管理	シート「JPJ07C.SR.01.01登録」	JPJ07C.SR.01.01登録	資産は委託契約の機能であり、財産は交付（補助）契約の機能です。委託契約と交付契約の間には特に関連性がなく、契約間の資産と財産をPMS上で操作することはできません。次期PMSでは、契約間の資産と財産を相互に参照するという要望はあるでしょうか。あるいは単純に記載が誤っているのでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
195	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN02B_職員管理	シート「JPN02B.SR.01の登録」	JPN02B.SR.01の登録	「初回パスワードとして、職員番号を自動で設定する」とありますが、現行は会計システムの機能で、PMS側でも同様の機能を保持するということでしょうか。SSOという記載があり、次期PMSではMDMのユーザー情報を元にログインが可能な認識ですが、職員情報の登録業務をPMS側が実装するのでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
196	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN03C ブロジェクト契約一覧	シート「JPN03C.SR.02契約の新規登録機能」	JPN03C.SR.02契約の新規登録機能	「JPN09A 収入契約情報管理」が載っていますが、機能要件定義書やフロー図には、「JPN09A 収入契約情報管理」は存在していませんでした。どちらが正しいでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
197	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN04B 契約情報管理	シート「JPN04B.SR.01.01契約基本の登録」	JPN04B.SR.01.01契約基本の登録	コンソーシアム契約は現行PMSの連名契約と同じでしょうか。その場合、「連番の契約管理番号を発番する」というのは、契約管理番号の発番ルールを変更するという意味でしょうか。（現在PMSの発番ルールでは、連番の確保はできません。ルールが変更になる場合、関連システムへの影響も考えられます。）	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
198	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN04H 執行見込み報告管理	シート「JPN04H.SR.04」	JPN04H.SR.04	機能処理No.1で「伝票区分は「年度末費用化後における会計処理パターン」シートに準拠する」とありますが、処理パターンの内容をご教示ください。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
199	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN05A 検査情報管理	シート「JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力）」	JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力）	検査管理機能の文脈では、「複数年度にまたがる支払処理」は「検査」と指すでしょうか。また、「複数年度にまたがる」と「年度数分の伝票を起票」については、1回の検査で複数の伝票を起票できるという理解で間違いないでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
200	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN05A 検査情報管理	シート「JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力）」	JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力）	委託・補助事業の検査管理機能において、確定減算が見当たらないのですが、廃止されるのでしょうか。（現行では発注側の検査管理にはまだ存在しています。）	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
201	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN06A 支払情報管理	シート「JPN06A.SR.04伝票起票の外部連携（出力）」	JPN06A.SR.04伝票起票の外部連携（出力）	・複数年度にまたがる支払処理について、一度の処理で完結させ、当該処理をトリガーとして会計システムで年度数分の伝票を起票できる 結果として、複数の伝票なのか、1枚の伝票なのか不明であり、どちらの仕様が正しいかご教示をお願いします。 ※複数年 = 前年度分含めてという想定です（3年、4年はない想定）	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
202	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN11R 伝票管理	シート「JPN11R.SR.01」	JPN11R.SR.01	伝票マスターは、伝票起票時に必要となるデータ項目を登録しますが、この項目が検査情報や支払情報の項目となり、会計システムとの伝票連携の内容となりますでしょうか。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	
203	次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN11U「コード・ロード開発」	シート「JPN11U.SR.01.01」	JPN11U.SR.01.01	設定は本番環境で登録一本番を使用する想定でしょうか。テスト環境で登録、テスト実施する場合、本番環境で再度同じ認定情報を入力する想定でしょうか。 テスト環境で入力した認定情報を本番にコピーする機能が必要であれば明記をお願いします。	仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。	-	